



年 組 名前

# 道新でワークシート

## 構想12年 排雪活用データセンター事業化へ



共同通信デジタルが取得した空知工業団地の土地と、データセンター(左)、野菜の水耕栽培などを行うハウス

### 企業集積に美唄市期待

【美唄】市などが空知工業団地の施設を進めてきた排雪の冷気をコンピュータサーバーの冷却に活用する「ホワイトデータセンター(WDC)構想」が、今秋から本格化する。27日には、東京のIT関連企業の共同通信デジタルが、事業の拠点とするデータセンターの設置を発表。構想策定から12年越しの事業化について、地域の民間研究団体などは「これまでの研究がようやく実を結んだという思い。今後も技術面で協力していきたい」としている。(石川美和、勝間田翔)

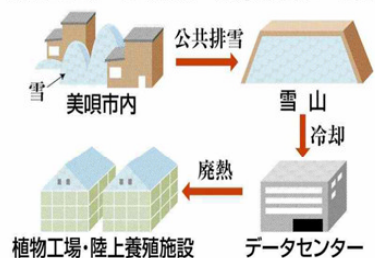
### 廃熱利用し農業・養殖も

今回の事業化では、センタ内のサーバーが発する熱を利用し、水産物の陸上養殖、ビニールハウスを使った野菜の水耕栽培も行う計画。6年前からの実証実験で、アワビの養殖やコマツナの栽培ができることは

確認済み。27日に美唄市内で行われた記者会見で、同社の伊地知晋一専務は「(廃熱利用は)ユニークで省エネ。世界初の取り組みになるのでは」と説明した。今後、協力企業を募り、商用化を目指すという。

また、同社は、今回取得した土地の隣接地を将来的に購入する計画だとい、太陽光やバイオマスなど再生可能エネルギーを利用し

ホワイトデータセンターの事業イメージ図



た発電所の建設も検討する。

美唄の年間降雪量の平年値は842センチで、札幌(597センチ)の約1.4倍に達し排雪を集めやすい。また、年平均気温は約8度で、7～8月の平均気温が20度前後と冷涼なため、データセンターの設置に適している

とされる。

美唄自然エネルギー研究会の本間弘達会長は「(構想は)12年かかって研究してきたものでうれしく思う。これからも雪の技術や農産物の生産などで協力したい」。また、市経済部の土屋貴久経済観光課長は「他のデータセンターの誘致にもつながるのでは」と期待を込める。

WDC構想は、同研究会が2008年度に策定した空知工業団地に約9万台規模のデータセンターの誘致を想定したもの。同社は、データセンター事業の展開を目的に13年に市と包括連携協定を締結。NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)の委託を受けた市や同社などは、14年から19年2月まで実証実験を行ってきた。

2020年7月28日(火) 朝刊 地方版(空知) 17ページ(記事は再編集しています)

①次の文の□に当てはまる言葉を書きましょう。

美唄市の空知工業団地では、□の冷気を活用して、コンピューターサーバーを冷却しています。また、データセンターが発した□を利用して、水産物の養殖や野菜の栽培を行う計画があります。

②なぜ、美唄市で事業を行うことにしたのでしょうか。

③写真にある土地の隣接地では、将来的にどのような計画を考えているのでしょうか。